

ENGINEER

MPDP

ダイアリー



高崎 充弘

第53回 【速報】「ウルス一人旅」始動 ～ 運命的な出会い ～



[Profile]

東京大学工学部卒業後、三井造船入社。米国レンスラー工科大学で修士課程修了後、(株)エンジニアの前身である双葉工具に入社。2004年に同社代表取締役社長に就任。独自の「MPDP理論」によるニッポンのモノづくり立国を提唱している。

前号まで数回にわたってiF design awardの受賞報告、そしてデザイン賞と意匠登録の関係について考察してきました。しばらくダイアリー（日記）から少し離れていましたが、今回は最新のトピックスとして、現在進行中の一大プロモーション企画をご紹介します。

そもそものきっかけは、今年1月の社内懇親会の席上。ネジザウルス300万本達成記念イベントの一つとして、全国の販売店・ホームセンターを順番に回って実演販売をしたら面白いねという話が出ました。それならウルスくんの着ぐるみも持って行ってお客さまにも楽しんでもらおう！ レーザーマーカや大型のTVモニターも積んでいこう！ とさまざまな意見が出て大いに盛り上がりました。こうして日本の街々を巡りながらネジザウルスを行商して回るというキャラバン企画案が誕生し、名前も「ウルス一人旅」に決まりました。

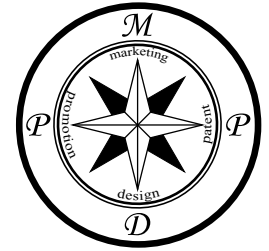
しかしながら、車をどうするのか？ ドライバー（実演販売担当者）は誰にするのか？ 広報活動はどんな方法で行うのか？ ……など、細かい部分がほとんど詰められないまま、約1カ月が過ぎていきました。ひょっとすると、この話はそのまま立ち消えに……？ と思っていた矢先、絶妙なタイミングでキャラバンカー製作の話が舞い込んできました。

それは東京にある自動車工具専門店のH店長からの情報でした。店長が懇意にされている雑誌「デイトナ」（ライフスタイル雑誌、所ジョージさんがメインキャラクター）の編集長が『「はたらくクルマ」制作プロジェクト』を企画しているというのです。中古の軽トラを使いやす

いようにカスタマイズして、機能美あふれる「カッコイイ仕事クルマ」をつくり、誌面でも6カ月間にわたって製作過程とクルマの活用風景を掲載したい。そのような企画にコラボしてくれる人（企業）はいないかと漠然とした想いを抱いて、協力先を探しているということでした。

H店長を通じて早速デイトナ誌の編集長に詳しいお話を聞くと、協賛（改造）費用はかかるが、予算内でなんとか収まることになりました。今のところ手を挙げて参加の意志を表明している会社はないので、当社が賛同すれば企画を進めたいとのこと。お互いにとって必要なものが、必要なときに目の前に現れる……まさにセレンディピティ、運命的な出会いでした。3月27日にデイトナ編集部とチーム・エンジニアの第1回テレビ会議が開催されました。決めるべきことは2つ。まずは外装のデザイン。走るだけで目立つクルマにしよう。2つ目は内装。実演販売車としての機能性と居住性をどう両立するか？ かんかんがくがく 侃々諤々の議論を経て、瞬く間にプロジェクトが始動することになりました。





ウ：いや～、超感激やわ。ボクの手ができるなんて、夢みたいや。社長はん、おおきに～。 (*^^*)

高：所さんがメインキャラクターで出ておられるデイトナ誌の企画というのも、不思議なご縁を感じるね。

銀：ほんま、渡りに船っちゅうか、「キャラバンに軽トラ」。企画がサクサクと進みましたな。

高：4月6日発売のデイトナ誌で『「はたらくクルマ」制作プロジェクト』の連載がスタート。H店長から情報をいただいてからわずか45日後だったね。

ウ：6月号では足回りのカスタマイズを開始。車高をググッ！ と上げたオフロードスタイル仕様。

銀：7月号ではウルス号専用デザインのエアロを製作！車体と荷台スペースの一体感のあるフォルム。

高：先日、ウルス号を製作いただいているS2レーシングにお邪魔してきましたよ。これがその時の写真。



銀：いや～、迫力ありまん。塗装前やからこそ、各パーツの存在感が半端ないですわ。

ウ：ロボットをつくってるみたいや。内装して、お化粧を施したら、ウルス号の誕生！ (*^^*)

高：S2レーシングの菅原社長とお話をしたけど、日本独自の文化ともいえる軽自動車をトコトンカッコよくしたいそうさ。そして、ウルス号の製作をきっかけに海外展開も考えておられるようだった。

銀：軽自動車っちゅう規格は日本にしかないらしいから、海外でも人気が出る可能性はありまん。

ウ：ウルス号の誕生によって僕らの夢と、菅原社長の夢がともに大きく広がっていけばうれしいですやん。

高：その夢を実現するためにも、MPDPの最後のP：プロモーション（広報活動）がとても重要なんだ。

銀：明日はどこのホームセンターに行きますとか？ 事前告知はするんやろ？

ウ：それはもちろんやけど、今日はネジザウルスやネジバズーカを〇〇ホームセンターで何丁買っていただいたとかTwitterやFacebookでつぶやくねん。

銀：「今日はよう売れたから、地元名産の〇〇芋と△□団子をたくさん食べました～。おいしかったわ～」とかつぶやいたら観光案内にもなるで！

ウ：ボク、温泉大好きやから、秘湯を見つけたら紹介しまっせ！ いい湯だな～ 極楽極楽！ (*^^*)

銀：調子のとったらアカンで。おいしいもんや温泉もええけど、全て実演販売の結果次第やからな！

高：ウルスくんのSNSを英語、中国語、ドイツ語に翻訳して発信する。「ウルス一人旅」を通じてインパウンドの旅行者が地元の名産品や秘境の温泉に興味を持ってくれば、観光振興にもお役に立てるしね。

ウ：海外の人も実演販売に来てくれるんでっか！ カタコトの英語も勉強しとこかな！ (^_^)

銀：カッコイイ軽トラの「ウルス号」にも興味を持ってもらえたら菅原社長の夢にもつながりまん！

ウ：ところで社長はん、ボクと一緒に旅してくれる人は誰でんの？ さっきからメッチャ気になってまんねん。

高：「一人旅」だけど、運転手は必要だよな。それなら決めてるよ。商品配送担当のO君だ！

ウ：Oさんなら毎日クルマ運転してはるし、模範ドライバーですやん。乗せてもらうボクも安心や～。 (*^^*)

銀：着ぐるみパフォーマンスは社内ナンバーワンやし、ゆるキャラグランプリでも大活躍。妖怪ウォッチの体操もできるし、ウルスくん命って感じやね。

高：ただ、心配があるとすれば……営業経験が乏しいのと、やや性格がシャイなことかな。しかし今、実演販売の猛特訓をしてくれているから大丈夫だろう。

ウ・銀：「ウルス一人旅」応援よろしゅうに～。 (*^^*)